

# 市民・事業者への環境配慮指針

環境にやさしい新たなライフスタイルづくり

環境配慮指針は、環境にやさしいくらしや事業活動に向けて、市民・事業者が積極的・自主的に取り組んでいくことができるようにするための手引き書です。より良い環境を保つようなライフスタイルを取り入れてまちの環境づくりを進めましょう。

## 地球温暖化防止・省エネルギー・自然エネルギーを推進しましょう

- エアコンを使うときは、夏28℃、冬20℃を目安にしましょう
  - エアコンの温度設定（冷房）を27℃から28℃にすると、1年間で670円の節約
  - エアコンの温度設定（暖房）を21℃から20℃にすると、1年間で1,170円の節約
- 使っていない部屋の照明は消しましょう
  - 蛍光灯（12W）：1灯あたり1日1時間短縮すると、1年間で100円の節約
  - 白熱球（54W）：1灯あたり1日1時間短縮すると、1年間で430円の節約
- 使っていない電気機器のコンセントは抜きましょう
  - 使わない時にコンセントからプラグを抜くと、1年間で2,490円の節約
- エアコン、冷蔵庫、照明器具などを買うときは省エネタイプを選びましょう
  - 省エネ製品を選択すると、1年間で6,960円の節約
- 出かけるときは、なるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用しましょう
- エコドライブを心がけましょう
- 車を買換えるときは、低公害車を選びましょう
- 洗面のときなど、水を出したままにしないようにしましょう
- シャワーを使う時間を短くしましょう
  - シャワーの時間を1回あたり1分短くすると、1年間で3,170円の節約
- 風呂はなるべく家族が続けて入り、残り湯は洗濯などに利用しましょう
  - 間隔をあけずに入ると、1年間で6,490円の節約
- 環境ラベルを参考に環境に配慮した商品を選びましょう
- 太陽光発電など、自然エネルギーを導入しましょう

### 住宅用太陽光発電システム設置費補助金

- ◆ 我孫子市では、自ら居住する我孫子市内の住宅に新たに太陽光発電システムを導入する方へ補助金を交付する制度があります。  
補助金額：システムの最大出力1kwあたり2万円 上限7万円（平成24年4月現在）
- ◆ 補助額等は、変更になることがあります。また、予算に限りがありますので、市のホームページ等をご確認ください。

### エコドライブのポイント

- ◆ ふんわりアクセル「eスタート」  
やさしい発進を心がけましょう。普通の発進より少し緩やかに発進すると、11%程度燃費が改善します。最初の5秒で時速20kmが目安です。  
→1年間で11,110円の節約
- ◆ 加減速の少ない運転  
車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。  
→1年間で3,900円の節約
- ◆ エアコンの使用を控えめに  
気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



## 3Rに取り組みましょう

### 3R(スリーアール)って何？

3R(スリーアール)とは、つぎの3つの英語の頭文字を表し、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(循環型社会)を形成していくためのキーワードです。

- ①「Reduce(リデュース)」必要以上の消費・生産を行わない
- ②「Reuse(リユース)」ごみとして廃棄せずに再使用する
- ③「Recycle(リサイクル)」資源として再生利用する

※3Rには優先順位があり、①.リデュース②リユース③リサイクルの順に重要とされています。

3Rを実現するために

- ごみになるものを作らない、売らない、買わないようにしましょう
- ごみにならないよう、繰り返し使いましょう
- リユース品など環境に配慮した製品を購入しましょう
- ごみや資源を適切に分別しリサイクルを心がけましょう



資源化イメージキャラクター「エコ丸」

### ◆「ごみ減量・リサイクル推進事業所認定制度」

ごみの減量やリサイクルを推進している店舗などを市が認定し、広報などで広く市民の皆さんにお知らせし、消費者の利用を促進することにより、資源循環型社会の実現を目指すものです。

※認定事業所の要件や手続きなど、詳しくはクリーンセンター

7187-0015 へお問い合わせください。



## 環境美化に取り組みましょう

- 路上喫煙、たばこのポイ捨てはやめましょう
- 飼い犬のふんの後始末は必ず行いましょう
- 廃棄物の不法投棄はやめましょう
- 個人でのごみ拾いや、自治会などでクリーン作戦に参加しましょう

## 手賀沼や利根川にやさしいくらしを心がけましょう

- 食用油はなるべく使い切り、使い終わった油は、流しに流さず資源に出しましょう
- 無洗米を利用したり、米のとぎ汁を庭にまいて、流しに流さないようにしましょう
- 洗車はバケツにためた水を使用し、洗車剤は必要な分だけ使いましょう
- 湖沼や河川で分解されやすい石けんの利用を広げましょう
- 側溝や路面清掃などに取り組みましょう

## 自然が感じられる住宅地を目指しましょう

- 近隣や自治会で生垣づくりやガーデニングの輪を広げましょう
- みどりのカーテンを育ててみましょう
- 鳥などが訪れる実のなる木を庭に植えましょう
- 自治会やグループで街路樹・花壇づくりに取り組みましょう

# 環境学習・環境保全活動に参加しましょう

市では、様々な環境学習や環境保全活動を実施しています。

※開催時期等については、広報、ホームページのイベント情報等でご確認ください。

問い合わせ先：我孫子市役所 04-7185-1111（代表）各担当課へ

## ◆環境学習

てがたん（手賀沼定例探鳥会）（鳥の博物館）毎月第2土曜日

鳥の博物館周辺の自然を散策しながら、鳥をはじめ昆虫や草花、その他さまざまな生き物を観察します。

あびこ自然観察隊（鳥の博物館）年4回

我孫子や手賀沼周辺の自然をさまざまな角度から観察します。

緑の講習会（剪定教室 / ガーデニング教室）（公園緑地課）

リサイクル教室 毎月（ふれあい工房）

石けん利用推進 消費生活展などの各種イベント時に開催（商工観光課）

生涯学習出前講座（生涯学習課 公民館）

環境レンジャーによるネイチャーイン、環境学習（手賀沼課）

## ◆環境保全活動

谷津ミュージアムの会（手賀沼課）

市の中央部、我孫子ゴルフ倶楽部と水空ライン成田線にはさまれたところに岡発戸・都部の谷津があります。斜面林、水田、湧き水が残り、市内でもっとも谷津の地形と自然環境が残されたところです。谷津ミュージアムの会は、谷津の自然を守り育てるための保全活動をしています。

また、15歳以上の市民を対象に、谷津の自然環境の保全や回復をはじめ、農村文化などについて、フィールドワークや講義などで構成する「谷津学校」を開校しています。

みどりのボランティア（公園緑地課）

古利根公園自然観察の森、古利根沼水辺周辺や中里市民の森・岡発戸市民の森では、みどりのボランティアの皆さんによる豊かな生態系をめざした森づくりが進められています。満18歳以上で活動に参加（登録）してみたい方を募集しています。

## ◆環境美化活動

手賀沼ふれあい清掃 毎年12月の第一日曜日（手賀沼課）

古利根水辺清掃 毎年11月（公園緑地課）

利根川河川敷清掃 毎年11月（治水課）

## ◆環境イベント

□ジャパンバードフェスティバル 毎年10月または11月（手賀沼課）

「人と鳥の共存をめざして」をテーマにした国内最大規模の鳥の祭典

□Enjoy 手賀沼! 毎年 5月（手賀沼課）

一人一人が手賀沼との関わりを考えながら楽しい1日を過ごすイベント

□手賀沼流域フォーラム 毎年10月（手賀沼課）

市民団体が主催する水環境保全とまちづくりを考えるイベント

□我孫子市民フェスタ 毎年1回（市民活動支援課）

地域で行われているさまざまな団体等の活動を紹介するイベント

## 事業者としての市の地球温暖化対策に向けた取り組み～あびこエコ・プロジェクト～

### 【温室効果ガス総排出量の削減】

#### ①エネルギー使用量の削減

昼休みの消灯/廊下、トイレの間引き点灯/エコルック（ウォームビズ・クールビズ）の推進/  
エアコンの夏28℃、冬19℃に設定

#### ②自動車による負荷の低減

公用車の低公害車の導入/エコドライブ、アイドリング・ストップの推進/公用自転車の利用の推進など

### 【環境への負荷の低減】

#### ①ごみ減量、リサイクルの推進

分別の徹底/ファイル、封筒の再使用の推進/マイ箸使用の推進/両面印刷の励行、グリーン購入の推進

#### ②水の適正利用

トイレ・給湯設備など日常的な節水の励行

#### ③公共施設整備による負荷の低減

太陽光発電など自然エネルギー利用設備の導入/省エネルギー型照明・空調設備の導入

#### ④緑の損失等による影響の低減

敷地内の緑化

\*\*\*\*\*工場や店舗、オフィスなどの事業者は、地球環境の保全に大きな役割を担っています。  
それぞれの事業者が、環境に配慮した活動に取り組むことが求められています。\*\*\*\*\*

※節約できる金額は、機種等により異なります。当指針では、一般財団法人省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典  
2012年版」から引用しています。